

# 警城時報

行發日四十二  
印刷所 警城時報社  
印刷所 警城時報社  
印刷所 警城時報社  
印刷所 警城時報社

## 市制施行の前提に

### 玉川村合併計画

#### 幹線道路・住宅街新設

小名濱港に於ける魚類水揚の激進は城の擴大から加工場の外大増に伴ふ加工場の新設は年々著工場の誘致など容易な事なので地理的から隣接玉川村へと延して合併實現に邁進の筈であるが、玉川村では町なほ之と同時に小名濱町東部の發展上甚だ遺憾の事となし之發展を策し七米五十の大幹線道路の對する善後策を講じつつあつた路を新設してこれを中心に住宅が愈々大小小濱市實現の建前を建設する事になり明年度豫から玉川村合併の案を急進に着算へこれが經費を計上する豫手する事になり一切の準備に着手だが、これに對しては過般内手した。この玉川合併案は同町務省都計課松井技師、金森仙臺の都市計劃の一つであり、玉川土木出張所長等一行が實地調査村に於て何等異議のない限り極をなし小名濱の將來の發展に大めて可及的速かに實現するもの敷判を押し進めた程である。

## 各區の組と單位に

### 部落常會を組織

#### 區長會で決定

平市では後發實地調査の期村々會議員新妻辰尾氏は明二十の計劃中であつたが二十三日區長會で決定した。即ち市內三十三區に常會をおき會長、副會長、幹事を置く。幹事には組長を推し組を單位に會合を開く事になつた。

## 警防團長任命

大浦村警防團長に任命された同

## 山口部落で

### 配電陳情

文化のレベルを走る省線を距る箇が四キロ、而も開通の近代都市平市と港都小名濱町間に介在し乍ら今尚ほ電燈に恵まれず金準備を進めてゐる。

## 二千六百年紀念に

### 勿來關公園化

#### 青年團が勞力奉仕

#### 司法書士執行猶豫

勿來町では紀元二千六百年の記念事業として奥羽の名蹟、勿來の關址の公園建設計劃に郷社國魂神社の改築を協議決定した。勿來關址の公園建設案は三ヶ年助(三八)の兩名は勿來文書偽造事件の完成、パーコラーの設備並に遊具、ベンチ、樹木、指示板、指路板の設置、櫻樹一千本増殖で来る三月早々青年團員の勞力奉仕で完成する。國魂神社の改築は三万圓以上の工費で拜殿並に幣殿二十二坪を改築し更に神佛所、祭器所を増築するも本年十一月着工し明年十月(四九)は二十三日午後三時頃底曳網に乗り込み相馬沖合で漁業中海中に轉落行衛不明になつた。

## 海中に轉落

江名町仲作吉田幸十方漁夫新濱縣北浦原郡松塚村生れ鈴木益三(四九)は二十三日午後三時頃底曳網に乗り込み相馬沖合で漁業中海中に轉落行衛不明になつた。

## 機械販賣を種に

### 千圓を詐取

本籍四倉町字本町一三〇番地生より昨二十四日午後九時頃四倉れ目下双葉郡浪江町字續一三番町の知合に潜伏中を四倉署に捕地居住機械商龍崎龍雄(三九)ははれた。龍崎は昭和十二年に四倉署として機械修繕並に機械販賣を氏方より依頼されて水揚ポンプ種に金六百圓を詐取し行衛を確二百餘圓を詐取したことも自白ましてゐたが、浪江署の手配にした、引續き取調中。

## 秋山少尉の戦死詳報

### 金成中尉から報告

山田村上山田出身立花部隊秋山少尉は昨年十二月十四日戦時十二月十四日午後五時五十分死したが、その壯烈な戦死状況分部下一同は他隊に先んじ敵陣が勿來町出身金成正二中尉から突入、されしも頑強なりし敵陣地の突角を奪取し勝因を開いた。

## 鈴木一等兵名譽の戦死

近で敵の大部隊と交戦、秋山少尉等はこれに急行参戦同少尉は陣頭に立つて進軍物なき四倉町本町出身立花部隊歩兵一加地を敵陣近く肉迫し正は突等兵鈴木一等兵は奮勇中、撃せんとした敵陣を左肩中支隊で戦死を遂げた。中支隊に頼りに軍刀を片の佐藤辰五郎君(草野村出身)か手に振りしめた。万歳の聲が實家に通知があつた。佐藤君もかすかに壯烈な最後を遂げは右足及び顔面に戦傷を負つた。

## 少年演劇團巡回

### 北支派遣軍 菊地部隊通信

小さな心に建國の熱情を秘めて皇軍の眞誠と指導のもとに北支各地を巡業、優雅な演劇を通して民衆を教化し、建國一歩の旅を續けてゐる支那少年演劇團が十月一日より五日迄羽池部隊にも訪れて来た。部隊では早速準備地内各地に於て芝居の好きな支那民衆に明るく楽しい一日を持たせやうと一般の觀覽に供したが、その巧まざる少年の演技と熱情は胡弓の音に恍惚となつた民衆の心に多大の

が元氣である。鈴木一等兵は自轉車を營む父倉吉(四九)さんの次男で出征前まで横濱海軍航空技術廠に勤めてゐた、實家には父の外兄正雄(二七)君を始め弟妹十八人ある。

## 小名濱出身

### 鈴木上等兵 戦死の公電

小名濱町定西出身木内部隊上等兵鈴木道信君は昨年十二月二十二日江西省の戦場で名譽の戦死を遂げた旨小名濱町役場に公電

出前迅速... 御料理... むぎとろ... さつき... 平市紅小路電四八八

## 平市人事録

○婚姻 泉村鈴木福太郎(三)があつた。鈴木上等兵は出征前まで父と共に材木商を営んでゐたが、出征後父が死亡し遺族母子(五〇)さん弟正巳(三三)さんは横濱市羽田町に移住してゐる。

## 民衆に慰安を贈り宜撫上多大の効果を収めて次の巡回地へ向つて行つた。

▲新民會 新民會とは皇軍の戦果の擴大と共に東○新秩序の建設には支那民衆の協力が益々必要不可欠のものとなつて来たがために蒙昧な人民の活動を指導啓蒙する目的のもとに設立されたものであるが、その主なる對照となるものは農民である。即ち 一、新政府を護持し民意暢達を圖る。 一、地産(産業)を開發し民生を安んず。 一、東方の文化道徳を宣揚光

### 強電力氣應用 神經痛に特效

天氣豫報 今夜は北西の風晴れ 明日は北西の風晴れ一時曇り

### 多田井質店

債券・公債 兩替・金融 平市大町 電話五九一

### 國産薬局

國策線上ノ改良品

### 鑄物の代用品生る

セメント製マンホール 金五〇錢各種  
同 風窓網 金五十五錢各種  
平市南町二〇

發賣元 **野内商會**

電話一一番

# かまぼく製造

お惣菜をつま揚・吉原揚

平市一丁目

# 不凍膏

▽配達人入用 電話一四一番

これは便利!

★手を荒さず  
★絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず  
★つけておくだけで洗へる

## 美 マルミ粉末石鹼

製造元 平市材木町一一

安田生命 保  
日本共立火災 險  
東京動産火災 險

平代理店 **井上貞治郎**  
平市五丁目 電話六六番

### 貸地廣告

平市宇新田前二六番ノ一 (縣道ニ副フ西側)  
間口四間一分 六十坪  
奥行十五間 六十坪  
貸地料一坪二十五錢ノ割  
洋細ハ左ニ御問合せ下サイ  
平市大町

中野勇吉商店  
電話一三三番

花柳病科  
泌尿器科  
皮膚科

診療 午前八時より  
午後九時まで  
時間 午後九時まで  
(入院隨意)

平市田町(電話六九二)  
**江尻醫院**  
醫學博士 江尻伊三郎

肋膜・氣管支・關節・神經痛・肺  
炎・ロイマチス……扁桃腺・中耳炎・骨  
膜炎・腰痛・痔疾に……  
漢方 貼藥 **生公華**  
濕布で名藥 價 二圓五十錢  
八圓  
專賣店 山野邊藥局  
平市五丁目角

**胃腸 若舞**  
薬も實力  
胃腸に若舞  
早く服用し其疾はなれよ  
若舞のキキメは販賣店が證明  
する。一回服用せし  
て、其疾はなれよ。  
胃腸・胃弱・胃痛・  
腹痛・食慾・飲慾  
急性慢性胃腸炎・胃腸過多症  
胃腸・腸炎・腸管炎・  
胃腸・腸管炎・腸管炎  
本館 鈴木誠心堂  
一丸五錢

特約店 **大平屋藥店**  
平市一丁目 [電話二四六]

移轉開業 (九月二十日ヨリ)

### 耳鼻咽喉科 專門

增田醫院  
平市紺屋町(吉田眼科前)  
電話 六五一番

小生病氣療養ノ爲、休院致シ居リ候處今般金快、上記ノ  
場所ニ移轉開業仕リ候間御通知奉ヘ御挨拶申上候  
增田 之

### 附屬産院 新設

妊産婦入院隨時

産科 婦人科 **木村病院**  
平市新川町  
電話一六四番

銃後の商家計費引下  
一日のサリヒスデーを  
十音のサリヒスデーを  
法利用下  
**平マキケド**  
平マキケド  
平マキケド

胃腸によくさく

### 麻苺散

薬 二日分 三十錢  
四日分 五十錢  
九日分 一圓

平市四丁目 **小野屋藥局**  
電話一四四番

内科外科  
エッキス光線 院長 安齋 徹  
産婦人科  
平市田町(電話四五七番)  
**安齋醫院**  
入院隨意

小兒科

平市南町  
**志賀醫院**  
電話一六二番  
(入院ノ需ニ應ズ)

### 耳鼻咽喉科

入院自炊  
の便あり  
大和田醫院  
平市南町(電話一〇七番)

産科・婦人科

平市田町  
**井坂醫院**  
電話五五九番  
◎入院隨時

### 耳鼻咽喉科

醫學博士 **高柳博明**  
平市驛前(電話三三六)